

## 第3学年2組 外国語活動学習指導案

日 時 令和3年11月2日（火）2校時

指導者氏名 神田 彩英子

A L T Sean Koopman

### 1 単元（題材）名

What do you like? 何が好き？（Let's Try1 Unit5 参照）

### 2 単元（題材）の目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付いたり、身の回りのものの言い方や、I like~, What do you like?, What ~ do you like?などの表現に慣れ親しんだりするとともに、相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりする。

### 3 関連する学習指導要領における領域

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと[やり取り]	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事項について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

### 4 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	スポーツや飲食物や野菜・果物などの身の回りの物の言い方や I like~, What do you like?, What ~ do you like? などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	相手のことをよく知るために、相手の好きなものについての話を聞いて、意味が分かっている。	相手のことをよく知るために、相手の好きなものについての話を聞こうとしている。
話すこと [やり取り]	スポーツや飲食物や野菜・果物などの身の回りの物の言い方や I like~, What do you like?, What ~ do you like?などを用いて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ってもらったりするために、自分や相手の好きなものについて、お互いの考えや気持ちなどを尋ねたり、答えたりして伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ってもらったりするために、自分や相手の好きなものについて、お互いの考えや気持ちなどを尋ねたり、答えたりして伝え合おうとしている。

## 5 基盤

### (1) 教材観

この教材では、「好きなもの」が題材となる。身近な題材であり、日常の会話の中でもよく使用される表現を学ぶ。これまでに学んだことのある「あるものについて、好きかどうか尋ねる」という限定的なものではなく、より幅広く「何が好きかを尋ねる」表現に慣れ親しむことができる。この教材を学ぶことによって、スポーツや飲食物、果物や野菜などに関して、多くの新しい単語と出合うとともに、What~do you like?など使用する表現が豊かになるため、これまで以上に「やり取り」の楽しさを味わえることが期待できる。また、何が好きかを尋ね合うことで、自分や友達、教師や ALT などの身近な人への新たな気付きや関係づくりを促すきっかけとなる可能性のある教材だと言える。

そして、この学習でのより自由なやり取りを楽しむ経験が、今後の外国語活動や5・6年の外国語科における様々な活動への意欲につながると考えられる。

### (2) 児童観

本学級の児童は外国語活動の学習にとっても意欲的である。英会話教室などで英語を習っている児童が複数名いるため、知識や経験の差があるものの、どの児童も楽しみながら英語を使おうとする姿が見られる。人との関わりの範囲が広がってくる中学年らしく、外国の文化や友達や教師などの身近な人についても興味・関心があり、意欲的に話を聞こうとする。またどのような活動に対しても、「おもしろそう。」「やってみよう。」と前向きに取り組むことができる。

一方で、活動にスムーズに乗ることができない児童がいたり、集中が続きにくかったりすることがある。また、ペアを見付けて話すような活動では、普段からよく関わる友達とばかりやり取りの活動をしているようなことがある。

児童はこれまでに、外国の挨拶、状態や気持ち、色、数、アルファベットの大文字などについて学習してきており、“I’m~.” “How are you?” “I like~.” “Do you like ~?” “Yes, I do.” “No, I don’t”などの、尋ねたり答えたりする表現にも親しんできた。また、コミュニケーションにおいて、声の大きさや表情、ジェスチャーを使ったり、相手にリアクションを返したりすることなどの大切さについても学んできており、活動の際には意識している児童も多くいる。4月から週1回の外国語活動の授業では、毎時間、ALTのSean先生がいる中で授業をしている。

### (3) 指導観

友達や教師などの身近な人への興味・関心をより高めるために、本単元のゴールを「友達についてもっと知るための外国語活動通信を作ろう」とする。外国語活動通信を作るために、学級で人気がありそうなスポーツや食べ物、果物や野菜などを予想し、実際はどうか尋ねたり答えたりし合って調べたり、友達の好きなものをインタビューしたりする活動を設定する。

この単元では、What do you like?やWhat~ do you like?のように、答えがYesかNoのみでないやり取りを扱うため、Let’s Try Unit5の誌面に載っているもの以外にも様々な単語が出てくることが予想される。児童が本当に伝えたいことが言えるように、児童から出てきたものは全体で共有していきたい。単語の複数形の扱いについては、教師やALTが正しいものを話すようにし、児童が耳から聞きなれることを大事にしたい。

本時である第1時では、身の回りの物の言い方を学習する。Let’s Try1に載っている単語を中心に、

児童が外来語として触れているものを挙げている。教師とALTの会話を聞き、What ~do you like?の表現に自然と出合うようにする。初めて出合う物の言い方は、会話の中で聞きとったり、ALTの発音を聞いて練習したり、キーワードゲームの中で何度も繰り返すことで、自然と言葉を聞き慣れるようにしたい。この際、日本語と英語の違いに注目できるように、英語らしく発音している児童に注目するようにしたり、日本語と似ているところや違うところを問いかけたりしながら活動を進めたい。第1時の最後には、単元のゴールを示す。先生たちの紹介が載っている校報「ちどり」の冊子を見せ、単元のゴールに同様の通信の学級版を作る活動への意欲がもてるようにしたい。単元のゴールを児童と共有することで、単元全体を通して常にゴールを意識しながら活動に取り組んでいけるようにしたい。

第2時以降では、単語やWhat ~do you like?の表現に慣れ親しむ活動やインタビューにつながる活動をする。何が好きか尋ねるカテゴリーについては、既習である色、数、アルファベット、食べ物、果物・野菜、スポーツなどをALTに尋ねたり、教師と児童、児童同士で聞き合ったりする活動をする。また、第3時では何でもバスケットの要領でいろんなカテゴリーの好きなものについて聞き、鬼と同じものが好きであれば動くゲームをする。What~ do you like?の表現をたくさん使うことや相手が何が好きか聞くことに繰り返し慣れ親しむ活動である。友達の動きを見ると、学級の友達の好きな物の傾向が分かるので、最後の活動の予想にも役立つと考えられる。第3時の最後には、みんなで調べてみたいカテゴリーを自分たちで1つ決め、第4時の活動につなげる。第4時では、お互いの好きな物についてしっかり聞くことができるように、自分の好きな物について考える時間やインタビューの活動時間を十分にとりたい。時間配分やテンポよくすすめることに配慮したい。インタビュー活動の際は、困っている児童に声をかけ、まずはペアで助け合いができるようにする。ペアでインタビューし合った情報を使って、外国語活動通信に載せる原稿を作成し、配付・掲示することで、お互いの理解が深まるようなものにしたい。

全体を通して、Teacher Talk という教師とALTの会話を聞いたり、教師が児童にも問いかけたりするような活動を多く取り入れることで、児童が自然と外国語に親しむことができるようにしたい。この活動は、4月から継続してきている。意識して短い内容を聞き取ったり、話題に沿って聞かれたことに即興的に答えたりすることを続けることで、高学年のSmall Talkにもつなげていきたい。

6 指導と評価の計画（全4時間 本時1／4）

時間 指導 事項	学習活動・学習内容	○：評価規準と◇：評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
本時 1	○Teacher Talk1 ○【Let's Play】 キーワードゲーム ○Teacher Talk2 ○【Let's Chant】 What do you like? ○振り返り	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">                     本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。                 </div>		
2	○【Let's Chant】 What do you like? ○ミッシングゲーム ○【Let's Listen】 ○【Let's Watch and Think】 ○インタビュー ○振り返り	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">                     本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。                 </div>		
3	○【Let's Chant】 What do you like? ○Teacher Talk ○何でもバスケット ○【Activity1】 インタビュー ○振り返り	○【〈聞くこと〉の記録に残す評価】 スポーツや飲食物や野菜・果物などの身の回りの物の言い方や I like~, What do you like?, What ~ do you like? などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 ◇行動観察・ふりかえりシート	○【〈聞くこと〉の記録に残す評価】 相手のことをよく知るために、相手の好きなものについて話を聞いて、意味が分かっている。 ◇行動観察・ふりかえりシート	○【〈聞くこと〉の記録に残す評価】 相手のことをよく知るために、相手の好きなものについて話を聞こうとしている。 ◇行動観察・ふりかえりシート
4	○【Let's Chant】 What do you like? ○Teacher Talk ○【Activity2】 インタビュー ○原稿書き ○振り返り	【「話すこと〈やり取り〉の記録に残す評価】 スポーツや飲食物や野菜・果物などの身の回りの物の言い方や I like~, What do you like?, What ~ do you like?などを用いて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 ◇行動観察・ふりかえりシート	【「話すこと〈やり取り〉の記録に残す評価】 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の好きなものについて、お互いの考えや気持ちなどを尋ねたり、答えたりして伝え合っている。 ◇行動観察・ふりかえりシート	【「話すこと〈やり取り〉の記録に残す評価】 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の好きなものについて、お互いの考えや気持ちなどを尋ねたり、答えたりして伝え合おうとしている。 ◇行動観察・ふりかえりシート

7 本時の学習

(1) 目標 日本語と英語の発音の違いに気付いたり、身の回りの物の言い方に慣れ親しんだりする。

(2) 展開

学習活動と予想される子どもの反応	教師の支援（・）と評価
<p>1. Greeting Hello. How are you? I'm good.</p> <p>2. Teacher Talk1 ○先生と ALT の会話を聞く。 ・先生は何が好きなんだろう。 ・What sport do you like? って聞こえたよ。 ・何が好きか聞いていたよ。 ・英語で卓球は, table tennis って言うんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で声を出したり個別に問いかけ合ったりして、安心して外国語を話す雰囲気を作る。</li> <li>・児童が内容を聞き取りやすいように、話す速さに気をつけたり、ジェスチャーや絵カードを使ったりしながら話す。</li> <li>・児童から聞き取ったことを引き出すことで、今回の単元では、何が好きかもっといろいろなものについて言ったり聞いたりできることを確認し、めあてにつなげる。</li> </ul>
<p>めあて いろいろなものを英語で言ったり聞いたりしよう。</p>	
<p>○誌面に載っているものの確認をする。 ○既習の表現を使って教師と児童、児童と児童とでやり取りしながらものの名前を確認する。 T : I like~. Do you like~? C : Yes, I do. No, I don't. T : What do you like? / What ~do you like? C : I like~. ・rice ball ってボールだから、おにぎりかな。 ・テーブルじゃなくてテーブルって感じ。</p> <p>3. キーワードゲーム ○ペアを組み、キーワードの英語が出てきたら消しゴムを取る。 ・英語らしく発音したいな。 ・日本語と似ているけど、少し違うな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い方がわからないものは、日本語でもよいことを伝え、出てきたものを英語で何というか確認する。</li> <li>・英語らしい発音をしている児童の発言をほめることで、日本語と英語の違いを意識できるようにする。</li> <li>・ジャンルを分けてカードを掲示することで、What ~do you like? の、~の部分のわかりやすくする。</li> <li>・ALT の発音で行うことで、児童が日本語と英語の違いを意識して発音できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
<p>4 Teacher Talk2 ○先生たちのやり取りを聞き、単元のゴールについて知る。 ・みんなの好きなものは何かな? ・みんなに聞いてみたいな。 ・学級の通信を完成させたい!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が単元の見通しをもつことができるように、実際のやり取りをやって見せ、インタビュー活動を通して、クラスの友だちの好きな物を紹介する外国語活動通信を作ること確認する。</li> </ul>
<p>5 Let's Chant What~ do you like? のチャンツを歌う。 ・もっと言いたいな。 ・他のものも聞いてみたいよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色編、果物編、食べ物編から児童に選んでもらうことで、主体的に聞いたり歌ったりできるようにする。</li> </ul>
<p>6 Review ○English Passport にふりかえりを記入する。 ・日本語と英語で似ているものがあるけど、ちょっと違ったよ。 ・table tennis はテーブルとテニスを合わせたものなんだなと思ったよ。 ・友だちの好きな物をいろいろ聞くことができそうだよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で初めて知ったこと、もっとやってみたいこと、分からなかったこと、日本語と外国語の発音の違いについて分かったことを書くように声をかける。</li> </ul>

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>		

(4) 見届けの視点

1・2時間目は記録に残す評価は行わないため、以下の視点で見届け、指導に活かす。

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
/	<p>教師や ALT の発音を聞いて、日本語と英語の発音の違いに気付くとともに、違いを意識して身の回りの物を言っている。</p>	<p>発音が分からないで困っている児童に対しては、教師や ALT が英語でゆっくりと発音したり、特徴をはっきりと発音したりした後で、練習することで、児童が自信をもって身の回りの物を言うことができるようにする。</p>